

# 栄養管理の状況と改善充実の工夫

西白河郡表郷村立表郷中学校

## 一、はじめに

本校は白河市東南の農村地帯にあり環境は閑静で、緑が多く恵まれている。昭和四十六年度と四十七年度、福島県学校給食研究校の指定を受け、学校長はじめ全職員共通理解の下で、給食に対する研究を進めたことがあり、現在もその体制を引き継いで、給食活動を行っている。

### 給食概況

- 一、給食人員 職員数 二十五名  
生徒数 五百十五名
- 二、給食費 年間 三万三千六百円  
二食当たり 百五十七円七十五銭

- 三、形態 完全給食週六日制
- 四、調理人員 二名

本年度から給食費の中で、消耗品などはすべて村費から支出されることになり、昨年までと比べ、かなり内容が充実してきた。

## 二、本校の給食状況について

六月分、九月分の本校栄養摂取量は、表1図1のとおりである。円が文部省の中学校給食基準栄養摂取量である。この表から見ると、不足分はたん白質の六月二パーセント、九月一パーセントである。昨年まで、たん白質摂取は月平均十パーセントほど不足気味であったが、今年はパンの中味が改善され、パンの中からたん白質が摂取しやすくなったことや、一食当たりの給

食費が多くなり、容易に動物性たん白質利用が可能になったことで、基準量に近くなったと思われる。しかし、パン食のため、植物性たん白質の不足が目立つ。消化率がよく、アミノ酸組成もよいパン食に合う大豆製品を用いた献立を研究し、植物性たん白質の摂取に努めたい。

次にカルシウムについては、パールカルシウムの混入と、チーズ類など乳製品の使用回数を増やしたことで、基準量を上回った。

表1 本校の栄養摂取状態

区分	栄養素	カロリー	たんぱく質 (g)	脂 肪 (g)	カルシウム (mg)	ビ タ ミ ン			
						A (IU)	B1 (mg)	B2 (mg)	C (mg)
中学校給食基準栄養摂取量		850	36	24	500	1,100	0.7	0.8	22
6月分本校給食栄養摂取量		864	35.2 (18.5)	30.4	612	1,460	1.22	0.96	31
	過不足量 (基準量に対する比率%)	+14 (102%)	-0.8 (98%)	+6.4 (127%)	+112 (122%)	+360 (133%)	+0.52 (174%)	+0.16 (120%)	9 (141%)
9月分本校給食栄養摂取量		883	35.5 (19.6)	27.7	568	1,268	1.27	1.17	25
	過不足量 (基準量に対する比率%)	+33 (104%)	-0.5 (99%)	+3.7 (115%)	+68 (114%)	+168 (115%)	+0.57 (181%)	+0.37 (146%)	+3 (114%)

※ビタミンは調理による損耗を除いた数字



図1 昭和50年度6月分・9月分栄養摂取状態

